

平成22年度岩手県立盛岡峰南高等支援学校
第1回学校評議員会記録

日 時 平成22年6月29日(火) 10時～11時30分

場 所 本校会議室

進 行 菅原(副校長)

出席者 〔評議員〕 菊 地 正 昭 様(岩手障害者職業センター所長)

成 田 甲子夫 様(あすなる園長)

福 島 尚 様(下久根公民館総務部長)

浅 沼 兵 作 様(田中自治会長)

小 澤 喜 一 様(前本校PTA会長)

〔学校側〕 校 長 高橋 勉

副校長 菅原 和子(進行)

副校長 佐々木政義

事務長 村田 信彦

教 諭 大村 泰久(教務主任)

教 諭 菊地 郁子(普通科長、記録)

教 諭 長山 菊雄(流通・サービス科担当)

教 諭 米倉圭一郎(進路指導担当)

〔オブザーバー〕 酒井昭彦 様(本校PTA会長)

欠席者 なし

1 開 会

2 校長あいさつ

3 自己紹介

4 協議〈要旨〉

(1) 平成22年度学校経営計画について(校長)

ア 学校経営方針について

イ 平成22年度学校経営計画について

(2) 平成22年度の主な行事について

質問、意見等、特になし

(3) 平成21年度卒業生の進路状況について

〔A評議員〕 6月20日より高校生対象の求人が始まっている。平成20、21年度と悪い状況が続いている。特に製造業(機械関係)は地方では皆無の状態である。普通高校も苦戦している。販売関係は採用が広がってきている。職場開拓等には協力させていただきたい。

〔PTA 会長〕 前期の就業体験実習が終了して、我が子も疲れが見られたが外部に引き受けてくれる施設があるというだけでも恵まれている。住居のある地域の事業所でも実習を引き受ける施設は少なくなっている。本人にはこれから進むべき方向を決めていってもらいたいが試す材料も少なくなっ

いる状況なので難しい。働いて報酬を得るということをわかってもらいたいのが親の願いである。

〔B評議員〕それぞれの科からどのような事業所に就労したのか過去のデータがほしい。科選択の材料になるものと思われる。

(答) これまで科毎の分析をしていないが、全体の状況を見ると科の特性というより本人の希望・特性による選択が多いようだ。今後、作業学習から専門教科になっていくので注目していきたい。

4科の専門教科は、家庭・農業・工業・流通サービスである。それぞれ特色ある進路先に結びつけばよいと思っている。保護者からはよくどこの科が就業に有利かという質問を受けるがどの科でも育てるというスタンスで臨んでいる。

昨年度の1年生よりくくり募集をしており、1年次に4科の基礎を学んでいる。2年次にあがるときにそれらの経験を踏まえながら科選択をしている。

〔C評議員〕企業側からするとリスクが大きく終身雇用という形態はなかなかとれないが時期的な仕事はある。そこで仕事のシェアをシステム化できないものかと常日頃思っている。

〔D評議員〕就職をするとすると「できる」「できない」ことで仕事が限られてくる。4科のすべてを経験することはとても大切なことだと思う。

(4) その他

〔村田〕 学校施設を休日等に地域に貸し出ししているので活用いただきたい。

5 その他

(1) 平成21年度学校評価について

質問、意見等、特になし

(2) 「ほうなんドットコム」について

今年度はPR・キャンペーンも考えている。地域の方がより利用しやすいように考えていきたい。

6 閉 会